

目 標 達 成 計 画

事業所名 ももせやすらぎの里
 作成日：平成 21年12月26日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	40	食材の買い物や全食食事作りが週に1回しか行えていない。また、入居者様と職員と一緒に食事は摂ってはいるものの同じメニューを摂取するかは各職員の判断に任せている状況である。同じ食事を摂取しない理由として金銭面での個人負担も課題である。	食材の買い物や全食食事作りが行えるようにしていく。 入居者と全職員が毎日同じ食事を摂り、食材についても話題にしながらの団欒のひと時を大切にしていきたい。 職員の金銭面での負担の軽減を図る。	同法人の管理栄養士と相談の基、メニューを検討していく。また、買い物や食事作りの回数を徐々に増やしていく事で、買い物や食事作りが全て行って行けるような体制作りをしていく。 ホームで一食100円程度の負担をする事で全職員が入居者と同じ食事を取れるようにしていく。	3～6ヶ月
2	4	この1年間の運営推進会議は県の指導が6回以上であるのに対し5回であった。 参加者は特定の方が多かったため、様々な方の参加と共に参加率も課題である。	運営推進会議を年に6回以上実施する。 参加者の人数と入居者、家族、地域、行政各々からの参加の増加を図り、多くのご指導と御協力を頂く事で、事業所のサービスの質の向上へと繋がっていききたい。	年度毎の運営推進会議計画を立て各担当者を決定する事で、事業所のサービスの質の向上の為に実りのある会議が円滑に実施できるようにしていく。	1ヶ月
3	33	ターミナルについての指針を作成しておりターミナルについての会議の場も設けたが、個々に対しての説明や本人、家族の終末期の意向などを確認できていない。	ターミナルの指針を基に個別での説明の場を設け、本人や家族の終末期の意向などを確認し、できるだけ早い時点で想いを共有し最善を尽くせるような体制作りを努めていきたい。	ターミナルの指針についての説明、意思確認の場を設ける。 職員のスキルアップに繋がるような勉強会を実施する。 担当者会議、状態・状況変化時毎に本人や家族の意思確認を随時実施していく。	3ヶ月
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。